

残暑お見舞い申し上げます。厳しい暑さが続いてありますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会では、現在、目指す姿や目標設定に向けて協議を行っております。今後も引き続き、皆様の協力を得ながら麻機をより良い自然の姿に戻すために協議を進めていきます。

ねんこんだまのり

No. 11
2005年8月18日

《第3工区の掘削を行った池の状況報告》

南沼上柴揚げ漁保存会の森下さんより、第3工区の柴揚げ漁を行う場所についての状況報告があり、実際に現場状況の確認を行いましたので報告いたします。

昨年、第3工区の柴揚げ漁を行う場所で掘削が行われ、現在掘削を行った場所には多くのチョウトンボが飛び交い、水中にはオオトリゲモやフラスコモなどの水草、そして水際にはミズアオイを確認することができます。

また、湧水が出ているのではないかといった意見もありましたが、水中の水温が低いことは確認できましたが、湧水が出ているかははっきりしたことは確認できませんでした。これまでも、掘削を行なった箇所から多くの植物が芽生えましたが、改めて麻機には多くの種子が眠っていることを認識することができたのではないかと思います。



▲ 位置図



▲ ミズアオイ



▲ オオトリゲモ



▲ 掘削を行った池

《策定部会の作業内容の報告》

策定部会もこれまで9回開催され、第6回までは現状の把握ということで、現地視察、麻機の自然についての勉強会、さらには先進地の事例の視察ということで荒川太郎右衛門自然再生地の視察などを行ってきました。

そして第7回策定部会より、新たな参加者メンバーも交え、麻機を目指す自然の姿を決定するために協議を行なっています。次回の策定部会では、これまでの意見を基に、麻機を目指す姿、目標、目標を達成するための方法について事務局で整理を行いましたので、それを基に協議を行い最終の取りまとめを行いたいと考えています。策定部会でまとめた意見については、協議会に計り最終決定を行います。

目指す姿や目標が決定した後は、目標達成の方法を行なった場合の評価・予測等を行ないながら、役割分担等についての協議を行なっていく予定です。



▲ 協議の様子 (第9回策定部会)



▲ 発表の様子 (第9回策定部会)

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

麻機の目指す姿、目標について多くの意見が寄せられました。これらの意見を活かし、少しでも早く良好な自然を再生できるように協議を進めていきたいと考えております。

今後も気づいた点がございましたら、どんなことでも、事務局まで意見をお寄せください。

ねんこんだまり

No. 12
2005年9月28日

《やすらぎみずべ巴川を考える会》

今まで、河川工事・維持等の河川整備計画は行政が計画・実施していました。これからは、行政だけではなく、学識経験者の意見を取り入れることになりました。そこで、ここ巴川流域の住民の方々を対象に『巴川を考える会』として、今年の2月から10月にかけてブロック別意見交換会を開催しています。意見交換会では、巴川の特徴や歴史、地区に関わる取り組みの紹介や、これからの巴川について参加者の皆さんと語り合います。

これまでに、長尾川流域、高部・飯田地区、大谷地区、麻機地区の4地区で、「やすらぎのみずべ巴川を考える会」が開催されました。その中で、麻機地区では、以下のような意見があげられました。他の地区の意見についても、静岡土木事務所のホームページにて見ることができますので、興味のある方は、一度ご覧になってください。



▲麻機地区で開催したときの様子

【麻機地区での意見】

■環境について

- ・河川を浄化し、ホタルなどが飛び交う事業を行なう
- ・ミズオオバコなど復活させるために遊水地を掘り起こして欲しい
- ・麻機周辺の産業廃棄物処理場は撤去できないものか
- ・植物、生物（魚類）の外来種を一刻も早くなくして欲しい
- ・ダイオキシンが心配である

■水質について

- ・生活排水、工場排水を完全に止めること
- ・清水を補給する安倍川の水利用増
- ・清流を取り戻す
- ・ゴミのない川
- ・巴川の水をきれいにする（底を洗うとか）
- ・子供が自由に入って遊べる水質に

■治水について

- ・大谷川の放水を早めにして、上流地域の安全も考慮して欲しい
- ・現在の遊水地をもっと整備し、遊水機能を保持してもらいたい
- ・大きな事業ではあるが早期の解決を望みたい

■親水空間について

- ・川を活かした「遊び場」ミニ公園を作りたい
- ・希少植物が沢山あるが、手軽に学習できる場所作りをして欲しい
- ・全国に例のない治水+親水公園に
- ・観光資源として有効活用できないか
- ・安全面に気をつけて、子供たちが遊べるように
- ・土手に桜の木と菜の花を植え、花見ができればいいな

お知らせ

【やすらぎのみずべ巴川を考える会 in 河口地区】

期 日：2005年10月4日（火）
19：00～21：00

場 所：清水浜田公民館
テーマ：まちづくりの拠点、巴川

【やすらぎのみずべ巴川を考える会 in 大沢川流域】

期 日：2005年10月6日（木）
19：00～21：00

場 所：清水中央公民館
テーマ：治水と水辺空間

【やすらぎのみずべ巴川を考える会 in 安東地区】

期 日：2005年10月11日（火）
19：00～21：00

場 所：東部公民館
テーマ：川と共存するまちづくり

【やすらぎのみずべ巴川を考える会 in 日本平】

期 日：2005年10月13日（木）
19：00～21：00

場 所：清水有度公民館
テーマ：見直そう、地域の川

【第4回 巴川遊水地4工区浄化対策検討委員会】

要 旨：平成16年度に、巴川遊水地4工区において環境基準を超えるダイオキシン類が検出されたことから、水質及び底質の浄化対策について専門的な視点で検討を行うような第4回の委員会を開催いたします。

開催日時：平成17年10月7日（金）
15：30～17：00（受付：10分前まで）
傍聴定員：10名程度（多数の場合抽選）
開催場所：アイセル21（静岡市中央公民館）
第31会議室 静岡市葵区東草深町3-18
議 事：浄化対策工法計画の策定について

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会では、昨年は麻機の自然を再生するための目標や、第4工区のダイオキシン類の対策工法について、皆様から多くの意見を伺う事ができました。

来年は、全体構想の完成を目指し活動を行っていきますので、今後とも皆様の活発な意見、ご提案をよろしくお願い致します。



No. 13
2005年12月27日

《第4回自然再生協議会の開催報告》

平成17年12月16日(金)に、第4回協議会が開催されました。協議会では、これまでの策定部会で検討してきた麻機の目指す自然の姿について、参加者の方の意見を伺い最終決定しました。麻機の目指す姿の最終案は「**生命にぎわう わ(環・和・輪)の湿地麻機**」と決定いたしました。今後は、これまでの調査結果を基にして、「**目標達成の施策と評価方法の検討**」、「**役割分担**」などを検討していきます。

また、今回の協議会より新たに4団体が加入し、今後はこの4団体を含む24団体、個人18名、行政7機関により、麻機の自然を再生するために活動を行っていきます。

今回の協議会では、この他に浄化対策検討委員会で対策基本計画について有識者の先生方に承認された内容について報告を行いました。決定された対策は、治水施設や自然環境への影響、数年以内に環境基準値を満足する事、経済性などを総合的に判断し選定されました。

今後は、本格的な工事を行うために実施計画の策定を行いますが、実施計画の策定にあたっては試験や調査を行いながら慎重に取り組んでいきます。

【協議会参加メンバー】

学 識 経 験 者 (2名)	
土 隆一 (静岡大学名誉教授)	田中 博通 (東海大学教授)
団 体 会 員 (24団体)	
1 観山中学校	13 しずおか環境教育研究会(NPO)
2 麻機小学校	14 しずおか流域ネットワーク(NPO)
3 城北小学校	15 静岡ロータリークラブ
4 麻機学区連合町内会	16 富士の国・学校ピオトーブ(NPO)
5 城北学区連合町内会	17 森づくり愛好会
6 千代田東学区連合町内会	18 (仮)地域の庭を作る会
7 南沼上柴揚げ保存会	19 静岡てんかん・神経医療センター
8 麻機南柴上げ保存会	20 静岡中央養護学校
9 麻機湿原を保全する会(NPO)	21 静岡北養護学校
10 麻機村塾	22 巴川・遊水地の魚を保護増す会
11 麻機遊水地グランド利用者会議	23 グランドゴルフ会
12 CLUBリパールネッサンス	24 NPO法人しずおか創造ネット
個 人 参 加 (18名)	
行 政 機 関 (7機関)	
国土交通省静岡河川事務所	静岡市市民局環境部
静岡県静岡土木事務所	静岡市都市局都市計画部
静岡県土木部河川企画室	静岡市建設局土木部
静岡県土木部河川海岸整備室	

お 知 ら せ

【清水高部東小 麻機遊水地で観察会】

清水高部東小学校の4年生が、総合学習の一環として「巴川の水害の歴史」を学んでおり、その中で上流部の治水対策について学ぶために、11月17日に麻機遊水地を訪れました。

当日は、NPO法人「麻機湿原を保全する会」の野鳥や植物の専門家たちが麻機遊水地の機能や豊かな自然について紹介し、オオサギやカワセミ、ヒドリガモ、オオバンなどの野鳥観察や、オギやヒメガマなどの草の実を探し、その構造や特色などを学びました。同時に、治水工事により土中に埋もれていた種子から多くの湿生植物が蘇った事例などの紹介も行い、子供たちは治水対策だけでなく貴重な植物を守る事の大切さも学ぶ事ができました。



【柴揚げ漁の開催について】

恒例となりました地域の伝統漁法「柴揚げ漁」を下記の通り開催することとなりました。ご都合のつく方は是非ご参加ください。

期 日：2006年1月15日(日) 9:30~13:30頃まで

場 所：静岡市野丈(麻機遊水地第3工区)

(流通センター北諏訪神社前)

内 容：・柴揚げ漁(9:30~11:30頃まで)

・鮎汁料理、おでん、あま酒等のお楽しみ会

・遊水地に住んでいる魚類の展示

・巴川治水パネルの展示



【麻機遊水地に関する情報を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会も、今年度で3年目を迎えております。この間には、第4工区でのダイオキシン類の検出などの問題もありました。

また、周辺部では第二東名高速道路のアクセス道路（主要地方道山脇大谷線）の整備が進められるなど、周辺環境も大きく変化しようとしております。そういった状況のなかで、この豊かな麻機の自然を、変わることなく後世に引き継いでいけるよう、今後も皆様と協力しながら、協議会を進めていきたいと考えております。



《第12・13回策定部会の開催報告》

平成18年2月2日（木）、2月23日（木）に、第12・13回策定部会が開催されました。策定部会では、第1・3工区の公園計画についての説明、「NPO麻機湿原を保全する会」が現在麻機で行っている清掃活動や、草刈についての説明、また、第1工区で確認されている湧水の状況や、各工区の土壌についての報告がありました。

策定部会の話し合では、こういった報告やこれまでの話し合いの内容を踏まえ、現在各工区のゾーニング計画を行っています。

今後は、現地視察会なども開催し、現地と話し合いの結果を確認しながら、全体構想の取りまとめを行ってまいります。



▲ 第12回策定部会の様子



▲ 第13回策定部会の様子

《自然再生推進法に基づく協議会の設置状況》

平成15年1月の自然再生推進法施行以来、現在までに14の自然再生協議会が設置され、それぞれの地域において、全体構想及び実施計画の策定を進めています。平成17年7月5日現在までに、6箇所の協議会で全体構想が策定されました。

これらの全体構想は、ホームページにて閲覧が可能となっております。是非一度、本協議会で話し合いを進めていく中でも参考になると思いますので、ご覧になってください。

協議会名（平成17年7月5日現在）	
1 荒川太郎右衛門地区自然再生協議会	8 榎野川河口・干潟自然再生協議会
2 釧路湿原自然再生協議会	9 霞ヶ浦田村・沖宿・戸先地区自然再生急尾議会議会
3 巴川流域麻機遊水地自然再生協議会	10 くぬぎ山地区自然再生協議会
4 多摩川源流自然再生協議会	11 八幡湿原再生協議会
5 神於山保全活用推進協議会	12 上サロベツ自然再生協議会
6 やんばるの河川・海岸自然再生協議会	13 野川第一・第二調整池地区自然再生協議会
7 椋原湿原自然再生協議会	14 蒲生干潟自然再生協議会

※■は全体構想を策定した協議会。

お知らせ

【麻機遊水地の自然 シリーズ3（昆虫編）発行のお知らせ】



麻機遊水地の自然シリーズ3として「野鳥編」、「植物編」に引続き「昆虫編」が発行されました。

「昆虫編」では、麻機遊水地で見られるチョウやトンボ、甲虫類を写真とあわせ解説しています。

また、昆虫の撮影方法や観察、採集などについての解説も行っています。これから、麻機遊水地でも多くの昆虫が見られる季節となってきますので、ぜひこの冊子をもって麻機遊水地を訪れて見てはいかがでしょうか。

※問い合わせは静岡土木事務所河川改良課まで

【第1回 川づくりと湿地の保全と創出 講演会について】

期 日：2006年4月26日（水） 13：15～16：30（受付12：30～）

場 所：静岡県研修センター（もくせい会館）2階第1会議室

内 容：「近自然学と川づくり」 講師 山脇正俊氏

「マンモスと永久凍土・

ベルホヤンスクのチョウと静岡県の自然」

講師 高橋真弓氏

「麻機遊水地の自然シリーズ3 昆虫の発刊に寄せて」

講師 伴野正志氏

受講料：無料

申し込み・問い合わせ先：

特定非営利活動法人麻機湿原を保全する会

TEL・FAX 054-247-4905

※申し込み期日は4月20日（木）必着となっております。

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会では、平成18年3月の任期の更新にあわせ、協議会の学識委員として、新たに4名の学識者の委員が参加することになりました。

新たに参加される学識委員は、魚類の専門家で静岡県立大学の板井隆彦助教授、植物の専門家で静岡植物研究会会長の湯浅保雄氏、野鳥の専門家で日本野鳥の会所属の伴野正志氏、蝶類の専門家で日本鱗翅学会会長の高橋真弓氏の4名となります。



《策定部会の開催報告》

平成18年2月から6月にかけて策定部会を3回開催し、麻機遊水地自然再生地のゾーニング計画について検討を行いました。ゾーニング計画では、「自然ゾーン」、「緩衝ゾーン」、「利用ゾーン」と大きく3つのゾーンに区分けしました。

「自然ゾーン」は、野鳥やトンボ、魚類などの生息の場となっている水域、レッドデータブックに記載されている貴重な植物が生育する湿地、カヤネズミの生息の場となっているヨシ群落等を積極的に保全・再生していくゾーンとしています。

緩衝ゾーンは、自然ゾーンに生育・生息する生物が利用ゾーンや外部からの影響を受けないように、また、周辺の山や川などの周辺の自然との連続性を確保するためのゾーンとしています。

策定部会の中では、そのほかにも麻機の自然を再生していく為には第3工区の流入水の水量が少ない点や、汚水が流入している点、第1工区の表土の保存方法についての指摘等、多くの課題も挙げられました。

今後は、これらの課題点も考慮しながら実施計画に向けて、役割分担、自然再生全体構想のとりまとめを行っていきます。



▲策定部会の開催の様子

お知らせ

《第1工区にて自然観察会が開催されました》

【遊水地のいきものを探そう】

平成18年7月29日（土）に、麻機遊水地第1工区にて麻機遊水地周辺の小学校3校（麻機、城北、千代田東小学校）を対象に自然観察会が開催されました。

麻機遊水地ではこれまでも各種団体が主催となり自然観察会が開催されてきましたが、今回は現在第1工区の工事を請け負っている平井工業（株）、稲垣工業（株）が主催となり自然観察会を開催しました。

自然観察会には、小学3・4年生の生徒と保護者、教員など約60名が参加し、水路の生き物や遊水地に生えている植物の観察を行いました。

観察会では、道具の使用方法や生物の種類を聞きながら、麻機に生息する生物を捕まえたり、麻機の自然環境だけでなく治水や昔の様子など多くのことを学ぶことができ、とても有意義な観察会となりました。



▲自然観察会の様子



【麻機遊水地に関する情報を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

巴川流域麻機遊水地自然再生協議会も、今年で設立から3年が経過します。これまで長期間にわたり検討を積み重ね、ようやく「自然再生全体構想」も最終調整の段階に入ってきました。

今年は、全体構想の策定を行い、引き続き事業の実施に向け、「自然再生実施計画書」の作成を行っていきます。



ねんこんだまり

No. 16
2007年 1月25日

《策定部会の開催報告》

平成18年8月と11月に策定部会を開催し、役割分担や自然再生全体構想の本文について検討を行いました。



▲策定部会の開催の様子

全体構想は、地域の自然再生の全体的な方向性を定めるもので、自然再生の対象区域や再生目標、役割分担について記述しています。

全体構想を検討していく中で、麻機の生き物は湿地環境に依存しているものが多いため、特に第3工区へ流入水が少ないということが大きな課題点としてあげられました。その他にも、外来種や植生遷移、利用者のマナーなど多くの課題があげられています。全体構想では、これらの課題に対する事業の概要については記述していますが、詳細な事業箇所や内容については、実施計画にて検討を行っていきます。

《冬の風物詩柴あげ漁》

今年も麻機の恒例行事である伝統的漁法「柴揚げ漁」が麻機遊水地第3工区で開催されました。

会場では、「柴揚げ漁」の実演のほか、鮎汁やおんなども用意され、多くの人で賑わいを見せていました。

2月10日（土）には、第4工区でも「柴上げ漁」が11時より開催されますので、興味のある方はぜひ参加してください。



▲柴揚げ漁



▲会場の様子

お知らせ

《第6回しずおか川自慢大賞で本協議会が発表します！！》

「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」での活動を「第6回しずおか川自慢大賞」で発表することになりました。この「しずおか川自慢大賞」は、川（水辺）を舞台に活躍している皆さんに、フィールドとしている川（や水辺）自慢、活動の楽しさ、学習の成果などを舞台の上で発表していただき、公開で選考し大賞その他を表彰するものです。

また、どこでどんな人がどのような活動をしているのか、情報交換を行い交流を深める場ともなっています。

今回は、本協議会の代表として事務局（静岡土木事務所河川改良課）が発表者として参加しますので、ぜひ皆さんも応援に来てください。

【日程等】

日時：2007年2月18日（日）10：00～16：30

場所：静岡科学館 る・く・る（受付は10階、会場は9階になります）

その他：「る・く・る」への入場料がかかります。10階受付で川自慢を応援に来た方には400円（通常500円）で入場券を販売します。

第六回
しずおか
川自慢大賞

日時 平成十九年二月十八日（日）
受付 十時から
会場 静岡科学館 る・く・る

川の面白さを再発見
川を舞台に心豊かに地域づくり

「る・く・る」への入場料がかかります。10階受付で川自慢を応援に来た方には400円（通常500円）で入場券を販売します。

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

本協議会も設立から3年が経過し、設立当時は学識会員2名、団体17団体、個人18名、行政機関7機関でスタートしましたが、現在では学識会員6名、団体25団体、個人19名の大きな組織となりました。今後、麻機の自然を保全・再生していくためには、もっと多くの方の協力が必要とあり、本協議会を中心とした「わ」をさらに広げていく必要があると考えられます。



No.17
2007年3月1日

《策定部会の開催報告》

平成19年1月21日に、第17回策定部会を開催いたしました。策定部会では、学識会員や関係部局の助言を頂きながら修正を行ってきた「自然再生全体構想」について、最終確認を行いました。

全体構想を取りまとめるにあたり、会員の皆様は麻機の自然に対し個々に様々な思いを抱いており、そのため意見が一つにまとまらないこともありました。しかし、今回の策定部会で「自然再生全体構想」(案)が取りまとめられ、次回の協議会に諮ることになりました。

策定部会であげられた全体構想に対する意見

- ・周辺とのネットワークづくりは、自然環境のネットワークだけではなく、人とのネットワークを表す図を追加した方がよい。
- ・干潟環境のイメージ図は、目標イメージと相違があるため削除した方がよい。
- ・本文中で、「湿地」という表現を使用しているが、「湿原」の方が麻機の環境にはふさわしいのではないかと。



第17回策定部会 (説明)



第17回策定部会 (会員の発表)

お知らせ

《第6回しずおか川自慢大賞で発表いたしました！！》

第6回しずおか川自慢大賞が2月18日に開催され、「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」を含む14団体が、自分たちがフィールドとしている河川での活動について発表を行いました。

発表は、午前中に3グループ(大人、子供、混合グループ)に別れ予選を行い、そこから各グループ2団体、復活選考で2団体、計8団体が選考され、午後の最終選考を行いました。大賞に選ばれたのは、「すごいぞ土合川！～大井川の宝物を探検して～」を発表した大井川南小学校の4年生のメンバーでした。

本協議会の発表は、混合グループでの発表となり、残念ながら予選で落選となりましたが、多くの方に麻機遊水地の自然、活動、そして「麻機」という名前を広めることができました。

これから実施計画が始まれば、実際に現地に出て調査やモニタリングなどの活動を行っていきます。現地では、これまでの話し合いとは違った新たな発見をすることができると思います。そういった新たな発見、すばらしさを、こういった機会を生かし伝えていきたいと考えています。



麻機の自然再生の発表



麻機の自然再生の発表

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

自然再生全体構想は、平成19年3月29日に策定され、4月から自然再生実施計画の作成に取り組んでいます。

4月26日に開催された、第18回策定部会では、実施計画書作成に関する進め方について検討を行いました。そして、6月14日に開催された第19回策定部会では、全体構想で定めた目標を基に、これまで実施してきた活動の課題や、今後自然再生のために実施しなければならない活動について検討しました。



ねんこんだより

No. 18
2007年6月29日

《第18・19回策定部会の開催報告》

第18回策定部会

自然再生実施計画は、全体構想で検討した内容の下の自然再生事業の内容を明らかにしていきます。

今後は、これまでよりも専門的な知識が必要となり他の協議会では専門分野ごとに分かれ検討を進めているところも見られます。

そのため、本協議会では、今後どのように会を進めるべきか検討を行い、その結果下記のような意見が、第18回策定部会で挙げられました。

■今後の策定部会の進め方について

- ・まずは全体で議論し、議論が進んでいけば自然にグループに分かれていくと思う。
- ・はじめから専門分野に分かれて検討すると、意見の調整が図りにくくなると思う。
- ・実施計画を作成したという方は少人数であるため、それをさらに細分化する必要はないと思う。

■策定部会への学識者の参加について

- ・策定部会にも学識者に参加していただき、効率よく、専門的に議論を進めた方がよいと思う。
- ・必要が生じた場合に、学識者には参加していただく。

第19回策定部会

現在、自然再生事業の対象区域である麻機遊水地第1工区・3工区では、今後、静岡市による公園事業が実施されます。公園計画は、過去に地元住民の意見を基に計画案の作成を行っており、今回の策定部会では、この公園計画について、自然再生協議会でどの様に取り扱っていくのかなど、様々な意見が寄せられました。

■公園計画についての意見

- ・公園計画と自然再生事業を、今後どの様に結びつけていくのでしょうか。
- ・公園整備は、「自然再生緑地事業」で実施しますが、自然再生推進法の自然再生事業との違いは何ですか。
- ・公園計画については、地元との調整を図る必要があるのではないのでしょうか。



グループ討議



グループ討議

中海自然再生協議会の紹介

中海自然再生協議会は、中海の自然再生を目指し今年6月に協議会を設立するため、現在準備を進めています。中海は干拓・淡水化事業をはじめとする開発事業によって自然の消失が進み、中海自然再生協議会では、中海の自然を再生していくためには中海の本来の水の流れを取り戻し、貧酸素水塊の発生源となっている中海湖底の大規模な浚渫窪地の埋戻しが必要不可欠と考えています。

しかし、現状ではこれらの課題をすぐに解決することは困難で、中海自然再生協議会では、これらを大きな目標とする中で、まずはできることから自然再生事業に取り組んでいこうと考えています。

中海自然再生協議会では協議会の設立にあたり、全国の先進的な事例を学ぶために、5月25日、26日に湿地に関する全国の協議会に呼びかけを行い、本協議会は事務局の静岡土木事務所がこの会に参加してきました。中海自然再生協議会は、他の協議会が行政主体で協議会を設立しているのに対し、これまでに例がない、NPOや市民が中心となって協議会の設立を進めています。



中海



活動状況の説明（上サロベツ）

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

現在、巴川流域麻機遊水地自然再生協議会では、自然再生実施計画の作成に取り組んでいます。

これまでの意見では、湿地環境を維持するための水の確保や、現在、遊水地内に残された水田表土の保全、活用方法が大きな課題となっています。特に、水田表土は第1・3工区の公園予定地部分に多く残されていることから、自然再生と公園整備との調整も、大きな課題の一つとなっています。



《第21回策定部会の開催報告》

9月12日（水）に開催された第21策定部会では、主に麻機遊水地第1工区と第3工区の公園計画部分について、守るべき自然環境、事業による自然環境への影響、公園計画に関する要望等、様々な意見を挙げていただきました。

今後は、これらの意見の中から、まずは保全すべき自然についてその保全方法や事業により消失する自然環境の再生方法などについて検討を行っていく予定です。

また、これらの検討項目を解決していくためには、専門的な知見も必要となることから、今後は学識者との連携を深めつつ、良好な自然環境を保全していくための実施手法の検討を進めていきます。



【公園計画区域内で守りたい自然】

- 休耕田に残された水田表土
⇒現在の保全方法や、保全する面積、量、活用方法などが検討課題として挙げられています。
- 湧水・流入水路
⇒湿地環境を維持していくために、第1工区では現在ある湧水や流入水路の保全、活用方法が検討課題として挙げられます。
また、第3工区では湿地部の乾燥化が進み、水の確保が大きな課題として挙げられています。

【公園計画に関する意見】

- 藤棚や桜は不要ではないか
- 駐車場の舗装は、アスファルト舗装ではなく環境に配慮したものにすべきではないか
- 子供用遊具はできるだけ置かない方がよいのではないか
- もっと広い広場が欲しい
- 在来魚を増やす施設を設置して欲しい
- 歴史資料館を設置して欲しい
- トイレを増やして欲しい

お知らせ

■第12回クリーン作戦(第3工区・巴川・浅畑川)

10月20日（土）に、第3工区や巴川周辺に不法投棄されたゴミの清掃活動が行われ、当日は約100名もの方が清掃活動に参加しました。

また、池沼部に繁茂している外来種のホテイアオイの駆除作業も行われ約800kgのホテイアオイが駆除されました。この植物は寒くなると池底に沈み、水質悪化の原因の一つとなっています。



■第4回子ども環境レンジャー・巴川 川の日親子でウォッチング

10月28日（日）に、第4工区で第4回子ども自然環境レンジャーが開催されました。当日は、約50人の親子が参加し、NPO法人麻機湿原を保全する会のメンバーにより、遊水地に生息する魚類などについて紹介を行いました。また、静岡土木事務所河川改良課による、「巴川 川の日親子でウォッチング」も開催され、治水事業などについての説明も行われました。



【麻機遊水地に関する情報を募集しております】 静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398 URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>

自然再生推進法も今年の1月で5年が経過し、同法主務省庁（環境省、農林水産省、国土交通省）では、各協議会における法の施行状況を調べ検討した上で、法の見直し等、必要な措置を講じていこうとしております。

法の施行状況の調査にあたり、本協議会の一部の会員の方にもアンケートの記入をご協力いただき厚くお礼申し上げます。

れんこんだまり

No.20
2008年1月16日

《第22回策定部会の開催報告》

昨年11月23日に第22回策定部会を開催しました。策定部会では、特に自然再生に関する意見が多い第1工区の視察を行いました。第1工区は、協議会設立時には休耕田として残されていましたが、現在では治水整備が進められ、第3・4工区と同様に一部池沼部が形成されています。

また、今後公園としても整備が進められ、周辺部においても山脇大谷線やあさばた線などの道路整備が進められ、その環境は周辺部も含め大きく変わろうとしています。

しかし、こうした中、第1工区では希少種の種が含まれた水田表土や魚類やシジミなどが生息する農業水路、湧水なども見られ、会員の方からは第1工区の自然を保全していくための意見が多くあげられています。今後は、これらの自然環境を保全するため、自然再生実施計画を作成し実施計画を基に自然再生事業を実施していく予定となっています。



第1工区の用水路



個人会員（栗山氏）が第1工区で実施している土壌シートバンク調査



検討会の様子（有永公民館）

お知らせ

＜浅畑沼の冬の風物詩「柴揚げ漁」開催のお知らせ＞

恒例となりました「南沼上柴揚げ漁保存会」主催の伝統的漁法「柴揚げ漁」が下記の通り開催されます。この柴揚げ漁も復活後30年を迎えることになりました。是非、興味のある方はご参加下さい。

記

■日時：平成20年1月20日（日）

9：30～13：00頃まで

柴揚げ漁は9：30～11：30頃まで

※雨天延期の場合：平成20年1月27日（日）

■場所：麻機遊水地第3工区（諏訪神社西側）

■内容：柴揚げ漁、鮎汁料理、遊水地に生息する魚類の展示、巴川のパネル展示等

※お酒も用意しているようなので、車を運転する方は絶対に会場でお酒を飲まないようにお願いします。



柴揚げ漁の様子（05.1月）

【麻機遊水地に関する情報を募集しております】静岡県静岡土木事務所河川改良課

TEL:054-286-9363 FAX:054-286-9398

URL:<http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki2/shizuoka/index.html>